

大丸有地区スマートシティプロジェクト



実施地域	東京都 千代田区 大手町・丸の内・有楽町地区
実施団体	大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティ推進コンソーシアム

対象
都市課題

対象地域の特徴・課題・目標
(目指すスマートシティ像)

■ 概要

大丸有地区では、千代田区・東京都・一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（以下「大丸有まちづくり協議会」）の3主体にて、「大手町・丸の内・有楽町地区 スマートシティ推進コンソーシアム」を形成し、官民連携を通じたスマートシティ化の推進をしている。大丸有地区は、東京都千代田区の東京駅と皇居に挟まれた立地であり、日本経済を牽引する東京都心のビジネスエリアである。

名称：大手町・丸の内・有楽町地区
(大丸有地区：だいまるゆうちく)
区域面積：約120ha
就業人口：約28万人
企業：約4300事業所



■ 目標とスマートシティのビジョン

大丸有地区では、まちづくりの目標として『まちづくりガイドライン』を策定しており、これら、まちづくりの目標をよりよく達成するために、ビジョンオリエンテッドによるスマートシティ化に取り組む。(大丸有地区では、スマートシティにより飛躍的に高まる価値の方向性を理解し、顕在化している課題にとどまらず、当地区の日常・非日常における、ポテンシャルの拡大・レジリエンスの増強という観点でスマートシティ化により解決すべき課題を「区域の発展的課題」として見出し取り組んでいる。)

なお、大丸有地区のスマートシティは、我が国が迎える成熟社会における「既存都市のアップデートとリ・デザイン」を「公民協調の PPP、エリアマネジメント」によって推進している点も特徴である。

VISION まちづくりの目標
大丸有まちづくりガイドラインより ※2019年民間協議会議決時点

1. 時代をリードする国際的なビジネスのまち
2. 人々が集まり賑わいと文化のあるまち
3. 情報交流・発信のまち
4. 風格と活力が調和するまち
5. 便利で快適に歩けるまち
6. 環境と共生する持続可能なまち
7. 安全・安心なまち
8. 地域、行政、来街者が協力して育てるまち
9. 新技術やデータを活用するスマートなまち

エリアマネジメント

官 (国・東京都・千代田区) × 民 (地権者・入居企業・就業者等) = 公民協調 PPP

PPP : Public Private Partnership

大丸有スマートシティ

都市のアップデートの方向性

創造性 Creativity	快適性 Amenity	効率性 Efficiency
-------------------	----------------	-------------------

都市のリ・デザインの方向性

Smart&Walkable
誰もが快適に安全・安心に
街の魅力を連続的に体験・楽しむ
交流・出会いの拡大

ユースケースベースの実証に伴って、デジタル領域の充実に総合的に取組んでおり、まちづくりと連動する各種方針の公開を進めている。

<デジタル領域における全体像>

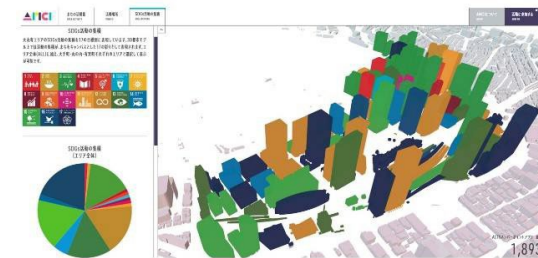


<例> アプリと自動運転モビリティ



移動利便性や回遊性向上に寄与する新たなモビリティの導入・普及にむけてエリアをリビングラボ化して実証実験を繰り返し、安全性や社会的受容性を検証
アプリケーションにより位置情報のリアルタイム発信

<例> ビジュアルコミュニケーションツール



Area Management City INDEX (AMCI) アムシー

エリアマネジメント活動の取組みを可視化したいという思いから、3D都市モデルを活用して、エリア価値を示すシティブロモーションツールを作成

<データライブラリと統合データ基盤>



大丸有を舞台とした事業機会創出やまちづくりに資する、エリアコンシャスなデータをライブラリ化していく。データライブラリに、静的データの実データ、動的データについてはデータ取得のAPIの利用方法を格納する。サービスやアプリケーションは、データライブラリを通じて、これら情報に簡易にアクセスできるようになる。

統合データ基盤として、SocietyOS(NTTデータ) を活用し、街のアップデートのためのデジタル機能を支える基盤として、データ連携機能と周辺サービスを整備・拡充していく。機能の拡充方法は実証実験など具体的なユースケース対応を通じて開発していく。

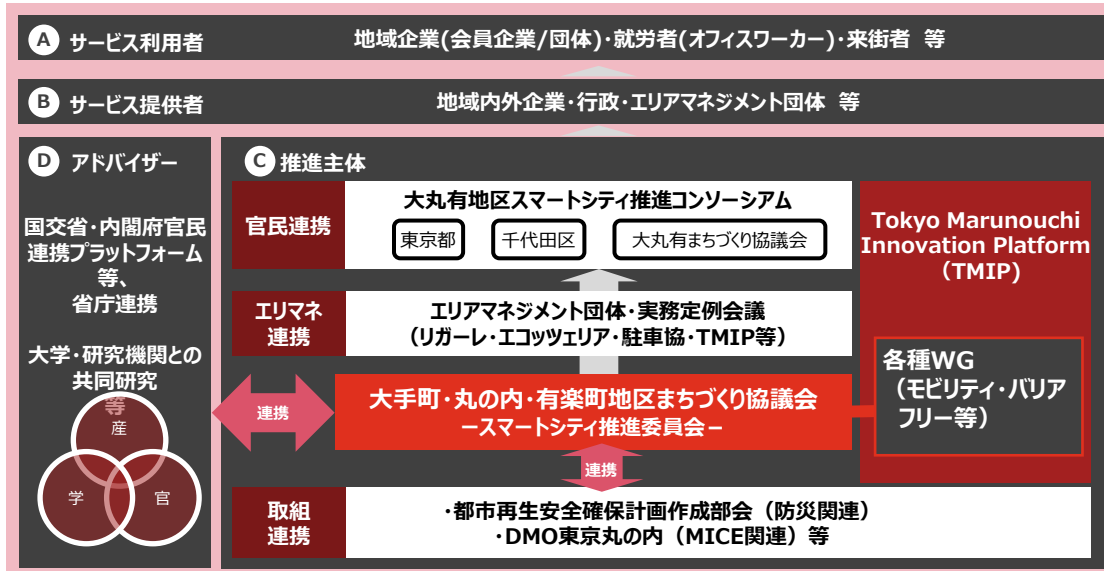
<各種方針について>

まちづくりと連動してデジタルツールをとらえるため「センサーマネジメント方針」および「リデザインロードマップ」を随時公開している。



◇ 実施体制図

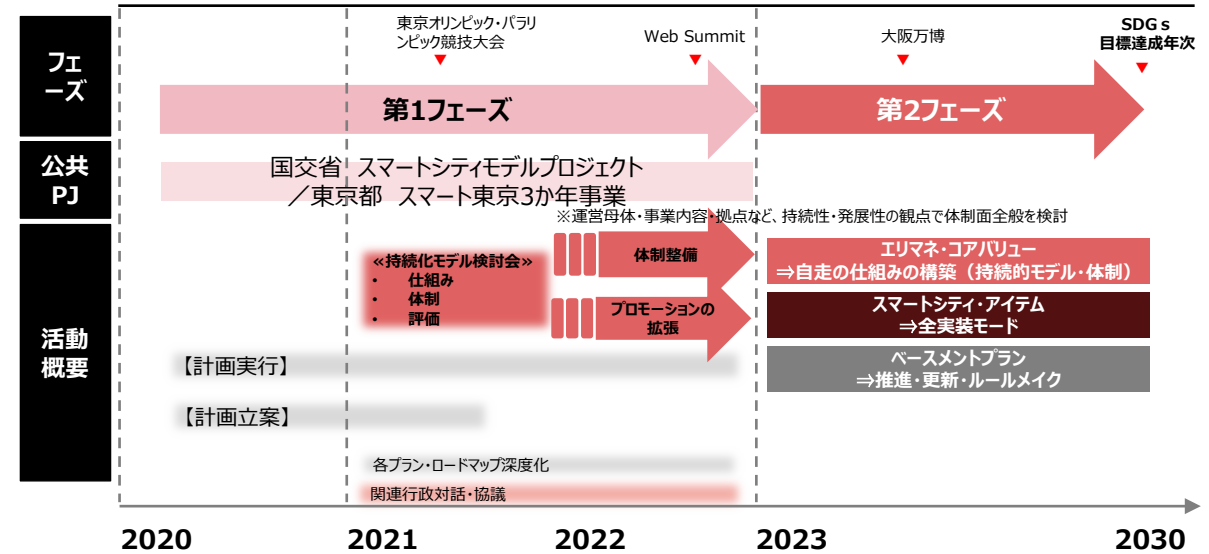
大丸有スマートシティでは、官民連携体制及び、エリマネ連携体制を構築し推進していき、テーマごとに取組を進めている活動体（防災、MICE 等）とビジョンの共有を図り連携して取組を進めていく。



※リガール：NPO法人大丸有エリアマネジメント協会、エコツェリア：一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会、駐車協：大手町・丸の内・有楽町地区駐車環境対策協議会

◇ プロジェクトのスケジュール

以下図のように、2023年までを第1フェーズ、2023年以降を第2フェーズとして設定し、第2フェーズにて自走できるモデルを構築できるよう検討中。



◇ その他（受賞歴、政府が進めるスマートシティ事業への選定 等）

【モデルプロジェクト選定】国土交通省「スマートシティモデル事業」の先行モデルプロジェクトに採択（2019・2020・2020補正・2021）

【プロジェクト選定】国土交通省「日本版MaaS推進・支援事業」採択（2021）

【プロジェクト選定】国交省 3D都市モデルサービス開発プロジェクト採択（2020補正）

【先行実施エリア選定】東京都スマート東京の実現に向けた先行実施エリアプロジェクト採択（2020 - 2022）